

# 支 所 経 営 方 針

平成 19 年度

薩摩川内市

支所名	里支所	支所長名	純浦嘉孝
-----	-----	------	------

支所内の 経営資源	支所関連の 主な予算	1.48億円		
	構成人員	職員	嘱託	計
		40人	6人	46人

支所の使命 (組織の存在価値)	地域密着の総合支所として ・市民へのよりよい行政サービスを提供する。 ・地域の生活の安定と安全・安心に寄与する。 ・地域振興の要として振興策の創出や事業者等支援を行い、定住化を促進する。	組織目標像	全庁的に前向き・積極的な行政経営を行う。 ・常に地域住民との対話を心掛け住民ニーズへの確に対応する。 ・研鑽にはげみ、地域活性化に資する。 ・イベント等への全庁的取組みによる地域活性化の促進。 ・本庁・支所間の連絡調整の強化。
--------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 平成 19 年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

重点事項	具体的な成果目標(めざそう値)	具体的な取組内容	進捗状況(年度中間)
○コミ協・自治会他各団体の活動の充実及び生涯学習、社会教育の推進。	○現行水準以上。 ○指導体制の充実	○情報の共有化。 ○支所内ミーティングの充実。 ○各団体の活動内容の見直し等に取り組む。 ○全職員の地域活動への積極的参加。	コミ協会長とは随時に会議開催。自治会長とは年3回(4・7・2月)実施。 週1回課内会議の実施。 各団体の活動内容の見直しは未実施。 地域清掃活動・団体行事等へ参加。 常に情報を共有し連絡を徹底している。 委託会社とのミーティング集1回実施。
○教育環境の整備 ・給食機能統合に伴う総合調整。	○安全でスムーズな業務執行。	○日常管理の徹底。 ○委託会社との的確な連絡調整、調整。	
○防災・生活安全対策の充実 ・自主防災組織の育成	○避難訓練の実施等による組織の充実。	○自治会への説明会等の実施。 ○消防・警察等との連携により実施。 ○自衛隊の訓練に参加。	全自治会で組織化された。 自衛隊との協同による防災訓練を実施し消防・警察等の連携も図られた。 巡回は随時実施。月1回報告書の提出。
○環境対策の充実 ○ゴミの減量化	○現行水準以上。 ○現行水準以上の減量目標。	○美化推進員6名による巡回指導の実施。 ○各自治会ごとの収集日にチェック。 ○行政と自治会の連携。 ○職員のみ及び各団体等によるボランティア活動の実施。	燃やせるゴミ、燃やせないゴミ、粗大ゴミごとにリサイクル推進員が随時立会し分別等の指導を実施。 不法投棄等の巡回パトロールを職員で毎

# 支 所 経 営 方 針

平成 1 9 年度

薩摩川内市

<p>○下水道排水整備の促進。</p>	<p>○整備率(接続率)目標 80% ( 490 戸 )。 18 年度実績 62.42% 382 戸 / 612 戸</p>	<p>○日常管理の徹底。 ○個別普及の推進。 ○毎月月ごとに普及率を公開する。</p>	<p>週実施。 適正使用の啓発 整備率 78.76% (482 戸)。 月ごとの普及率掲示銚 5 箇所</p>
<p>○産業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光協会の強化。</li> <li>・観光対策の充実。</li>   <li>・漁業青年部の活動支援。</li>   <li>・農業基盤の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局の充実。</li> <li>・現行水準以上。</li>   <li>・現行水準以上。</li>   <li>・良質農地(水田)の確保のための事業化体制の整備促進。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局職員の支援強化。</li> <li>・夏期の切符販売の円滑化。</li> <li>・ブルーツーリズムによる振興の推進。</li> <li>・漁業再生交付金の有効活用。</li>   <li>・水産専門職の活用等。</li> <li>・支所内での検討。</li> <li>・各団体等との協議。</li> </ul>	<p>本庁観光課で検討中。 改善できず。 ワークショップ開催。 青年部の事業支援(キビナゴ鮮度保持支援等) 今後における漁家との連携強化の推進等 農業委員との事業化協議</p>
<p>○職員の能力向上及び目標と方針の支所内共有化</p> <p>○窓口業務の能力向上</p>	<p>○市長五訓の徹底。</p> <p>○進行管理・実績管理を実施。</p> <p>○信頼感の醸成。</p>	<p>○課内ミーティングの実施。 ○内部情報システムの習熟活用。 ○人材育成基本方針の活用。 ○事務フローチャートの作成。 ○課内の横断的対応の実践。 ○情報共有化の日常実践。</p> <p>○迅速・的確・親切な対応の実践。 ○監督者による適切な職員指導。</p>	<p>週初めに各課課内ミーティング実施。 習熟度のアップが見られる。 活用されている。 水道・建設Gで作成。 実践できている。 実践できている。</p> <p>実践できている。 実践できている。</p>

年度末の達成状況【主な実績】